T50万TOPS超を誇るB+TREEキャッシュへ一人の超高速超大容量FLASH S5D 「次期Super SSD G3シリーズ」を発表
~世界最高速クラスのビッグデータ解析に最適な 超高速超大容量FLASH SSDストレージ~
Vol. 021 2012/06/07
いつもお世話になっております。 コアマイクロシステムズの吉政でございます。
昨日発表いたしました150万IOPS超を誇るB+TREEキャッシュベースの超高速超 大容量FLASH SSD「次期Super SSD G3シリーズ」をお伝えしたくメールマガジ ンを発行いたしました。
コアマイクロシステムズでは、従来より販売してまいりましたSuper SSDの次期 モデル (SANDAY BRIDGE CPUベース) G3シリーズを発表しました。従来モデル に比べ、大幅な性能アップと、従来には低価格を実現しました。ランダムIOPS 150万回以上、ランダムスループット15 GB/s以上のクラス最高の性能を誇ります
近年、情報爆発(ビッグデータ)と言われるように、指数関数的に情報が増加しており、これら情報のリアルタイムな処理と分析が最大のテーマになりつつあります。これらの情報分析の時代に、弊社の半導体ストレージ技術がビジネス競争を勝ち抜く上で、大きく貢献することを信じています。
本製品のスペックなどは以下をご覧ください。
Super SSD Enterprise(G3)(SLCモデル) URL http://www.cmsinc.co.jp/products/superssd_enterprise.html
Super SSD Professional(G3)(MLCモデル) URL http://www.cmsinc.co.jp/products/superssd.html
INDEX
[News & Topics]
◇6月6日発表 150万IOPS超を誇るB+TREEキャッシュベースの超高速超大容量FLASH SSD 「次期Super SSD G3シリーズ」を発表
~世界最高速クラスのビッグデータ解析に最適な 超高速超大容量FLASH SSDストレージ~
◇4月12日発表 クラウド時代を見据えた 次世代統合バックアップ&DRソリューションストレージ「Ever SAFE」を発表 〜拠点間DRとクラウドへのDRを同時に実現する 低価格統合バックアップストレージ〜
[ストレージ・マーケティングコラム]
第九回:SLCとMLCの違い
♦♦> [News & Topics]< ♦♦♦♦♦♦♦♦♦♦♦♦♦♦♦
[News & Topics]
◇6月6日発表 150万IOPS超を誇るB+TREEキャッシュベースの超高速超大容量FLASH SSD 「次期Super SSD G3シリーズ」を発表
~−∵ (1)

~世界最高速クラスのビッグデータ解析に最適な 超高速超大容量FLASH SSDストレージ~

原文: http://www.cmsinc.co.jp/news/2012/news20120606.html

解説:
ランダムIOPS150万回というと、想像がつかないような数字ですが、「ランダム」とつくかどうかは結構大きなところです。ビッグデータなどの解析系はランダムI/Oで超高速処理を実現しなくてはいけません。単純にストレージが速くてもそれだけではだめで、今回の新製品のように「B+TREE フル連想記憶型・超大容量DRAM キャッシュ搭載」することで、ビッグデータ解析システム全体の超高速なI/O処理を実現できると考えています。(吉政)

◇4月12日発表

クラウド時代を見据えた 次世代統合バックアップ&DRソリューションストレージ「Ever SAFE」を発表 〜拠点間DRとクラウドへのDRを同時に実現する 低価格統合バックアップストレージ~

原文:http://www.cmsinc.co.jp/news/2012/news20120412.html

Ever SAFEは、ほとんどのOSとアプリケーションに対応し、各種PCクライアント及び各種サーバ(物理サーバ、仮想サーバ)を効率よく統合バックアップすることが可能です。また、バックアップの高速化とストレージリソースの効率化のためにリアルタイムなデータ圧縮技術と重複排除技術を適用しています。本 ソリューションストレージにより、ローカルでの統合バックアップを始め、重 要拠点間相互バックアップと同時にクラウドストレージ (Amazon S3等) へ3次 バックアップを実現することが可能になり、いかなる災害に対しても確実にか つ、低価格にBCP対策を実現することができると確信します。

◆◆>[ストレージ・マーケティングコラム]〈◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

第九回:SLCとMLCの違い

最近、一般的にもSSD(Solid State Drive) という言葉を聞くようになりましたが、SSDを構成するNAND素子にはSLC(Single Level Cell)とMLC(Multi Level Cell)の2種類があります。

この二種類の違いを簡単に説明するとSLCは「Single」の文字通り、 素子に、1ビットのデータを記録するが、MLCは「Multi」の文字通り、1つの記録素子に、1ビットのデータを記録するが、MLCは「Multi」の文字通り、1つの記録素子に2ビットのデータを記録するため、大容量化がしやすいというメリットがあります。SLCは「Single」が故に、高速です。よって、SLCはビッグデータなど超高速処理が求められるようなサーバ用途に用いられ、MLCは長期保存用に関いたれるエートが多いです。 用いられることが多いです。

耐久性の観点で説明すると、SLCは蓄積電荷量の検出を「Hi」と「Low」の2値で判断するため、記録素子の劣化やノイズといった多少の蓄積電荷量のバラツキは問題とならないため、耐久性は高いとされています。書き込み制限数は 10万回と言われています。

一方でMCLのほうは「Hi」と「Low」の2値以外に4値や8値、16値といった多値を 一方でMCLのはうは「HI」と「LOW」のZ値以外に4値や8値、16値といった多値を設定し判断します。よって記録素子の劣化やノイズによって少しでも蓄積電荷量に変動が生じると、保持していたデータは誤りとなってしまいます。よって書き込み制限値はSLCと比べて少なく1万回と言われています。MLCはデータの誤りが起きやすく見えてしまうかもしれませんが、フラッシュメモリ回路やコントローラ内の誤り検出訂正回路によって自動的に正しいデータに修正されるので、心配することはありません。しかしながら、同じSSDと言っても、SLCとMCLはそもそもの構造が違うため、用途に合わせて選ぶ必要があると思っています。 す。

今回発表したSuper SSD Enterprise(G3)はSLCモデルであり、Super SSD Professional(G3)はMLCモデルです。価格ももちろん違いますので、用途に合わせてご提案をさせていただければ幸いです。

Super SSD Enterprise(G3)(SLCモデル)

022 CNL

URL http://www.cmsinc.co.jp/products/superssd enterprise.html

Super SSD Professional(G3)(MLCモデル) URL http://www.cmsinc.co.jp/products/superssd.html

(マーケティング・アドバイザー 吉政忠志)

CMS News Letterについては下記にバックナンバーをアップしています。 http://www.cmsinc.co.jp/mm/mailmagazine/index.html

集|後|記|

気が付けば、このメルマガも20回を超えました。当時は30万IOPSで世界最高速という話をしていました。そんなに速いストレージっていったいどこに使うのでしょうか?と質問を頂くこともありました。創刊から2年半がたち時代はビッグデータの時代へと突入しました。今まさにSSD時代にはいろうとしています。今後の弊社の展開に是非ご注目ください。(吉政)

コアマイクロシステムズでは、お客様事例を募集しております。事例公開にご協力いただきましたお客様の社名やお取り組みを弊社のホームページや販促資料に記載し、皆様のビジネスの露出度向上に些少でも貢献出来ればと思います。お気軽に弊社担当までの発見知います。

-◇本メールマガジンの登録解除方法◇ このメールに対する登録解除は★そのまま返信★でその旨をお伝えください。

本メールマガジンの送付先追加と送付先変更方法 このメールマガジンに★そのまま返信★で下記の項目をCut & Pasteして項目 を埋め、返信して下さい。

変更の場合、旧送付先

- (1) メールアドレス
- (2) 氏名
- (3) 会社名 (4) 部署名
- (5)役職名